



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
 コード番号 3104 URL <http://www.fujiibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 光雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3665-7612

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,840	△7.4	2,512	△55.6	2,576	△52.9	1,524	△54.6
25年3月期第3四半期	32,214	15.2	5,661	82.1	5,466	91.9	3,358	105.3

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,733百万円 (△48.5%) 25年3月期第3四半期 3,368百万円 (86.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.07	—
25年3月期第3四半期	32.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	45,576	22,065	48.4
25年3月期	44,526	21,005	47.0

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 22,065百万円 25年3月期 20,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	△3.6	3,000	△48.9	3,000	△47.0	1,700	△45.9	14.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付書類3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	117,200,000 株	25年3月期	117,200,000 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	537,187 株	25年3月期	533,295 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	116,665,070 株	25年3月期3Q	103,385,279 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策等の効果により円安・株価上昇が進み、輸出関連企業を中心に収益が改善し、個人消費の持ち直しが徐々にみられるなど、穏やかな回復基調となりました。しかしながら、当フジボウグループの事業環境は、円安による輸入原材料価格や電力代の上昇、欧州の財政問題や新興国経済の減速などの懸念材料、一部高額商品の販売は堅調なものも依然として続く消費者の節約志向・低価格志向などにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『突破11-13』において重点事業と位置づけている繊維事業、研磨材事業、化学工業品事業の3事業を中心に営業力、開発力の強化を進め、収益力の改善に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は29,840百万円(前年同期比2,373百万円、7.4%の減収)で、営業利益は2,512百万円(前年同期比3,149百万円、55.6%の減益)、経常利益は2,576百万円(前年同期比2,890百万円、52.9%の減益)となりました。また四半期純利益は、1,524百万円(前年同期比1,834百万円、54.6%の減益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

①繊維事業

円安による輸入原材料の価格上昇に加え、紡績、テキスタイル、合繊は需要の低迷が続き、肌着などの繊維製品ではプライベートブランド商品との競争が激化するなど厳しい環境で推移しましたが、アンゲル株式会社のグループ化による販売チャネルの拡大と、国内外のグループ内素材調達・製品生産機能の活用により前年同期比で増収・増益とすることができました。

この結果、売上高は前年同期比388百万円(3.3%)増収の12,290百万円となり、営業利益も19百万円(6.4%)増益の333百万円となりました。

②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、ハードディスク用途、半導体デバイス用途(CMP)が順調に推移し、パワー半導体、カバーガラス向けなど新規用途が拡大したものの、液晶ガラス用途および前期大きく伸ばした一般工業用途が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比3,994百万円(34.6%)減収の7,539百万円となり、営業利益も3,070百万円(62.1%)減益の1,871百万円となりました。

③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、農薬・機能品を中心に柳井工場でフル生産を続けることができました。また、今期取得した武生工場は増収に寄与しましたが、全社での生産最適化に向けた設備投資を優先して実施しており、利益貢献にまでは至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比1,511百万円(29.6%)増収の6,624百万円となりましたが、営業利益は83百万円(24.3%)減益の258百万円となりました。

④その他

精製は、円安による輸入競合品の価格上昇から国内での溶剤再生が好調に推移し、前年同期比で増収・増益となりました。自動車関連ではアジアから中南米へのタイヤ・部品等の輸出は増加しましたが、車両本体の輸出は減少しました。化成品は、医療機器用部品が順調に拡大したものの自動車用部品・デジタルカメラ用部品は回復に至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比278百万円(7.6%)減収の3,386百万円となり、営業利益も15百万円(24.5%)減益の48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて145百万円減少の19,863百万円となりました。これは、商品及び製品などのたな卸資産は増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1,195百万円増加の25,713百万円となりました。これは、化学工業品事業において吸収分割により設備の取得をしたことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,050百万円増加の45,576百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて100百万円減少の14,997百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、短期借入金などが増加しましたが、未払法人税等やその他の流動負債などが減少したことによります。固定負債は前連結会計年度に比べて90百万円増加の8,514百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて9百万円減少の23,511百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,059百万円増加し、22,065百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による増加が1,524百万円ありましたが、剰余金の配当の実施による減少が583百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力の研磨材事業において、液晶ガラス用途および前期大きく伸長しました一般工業品用途の回復が遅れていることから、平成25年10月31日に公表した通期の業績予想の数値を修正しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,076	2,300
受取手形及び売掛金	10,767	10,052
商品及び製品	2,961	3,455
仕掛品	1,278	1,716
原材料及び貯蔵品	980	1,267
その他	957	1,084
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	20,009	19,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,165	4,765
土地	13,832	13,757
その他（純額）	4,510	4,887
有形固定資産合計	22,507	23,410
無形固定資産	162	291
投資その他の資産		
その他	1,851	2,016
貸倒引当金	△3	△5
投資その他の資産合計	1,847	2,010
固定資産合計	24,517	25,713
資産合計	44,526	45,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,844	5,914
短期借入金	4,775	5,803
未払法人税等	1,382	51
引当金	762	507
その他	3,331	2,719
流動負債合計	15,097	14,997
固定負債		
長期借入金	562	510
退職給付引当金	4,367	4,493
引当金	11	—
資産除去債務	211	213
その他	3,270	3,296
固定負債合計	8,423	8,514
負債合計	23,521	23,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,174	2,174
利益剰余金	9,536	10,482
自己株式	△59	△60
株主資本合計	18,325	19,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	386
繰延ヘッジ損益	△0	△6
土地再評価差額金	2,287	2,283
為替換算調整勘定	62	132
その他の包括利益累計額合計	2,622	2,795
少数株主持分	57	0
純資産合計	21,005	22,065
負債純資産合計	44,526	45,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	32,214	29,840
売上原価	19,863	20,449
売上総利益	12,351	9,391
販売費及び一般管理費	6,689	6,879
営業利益	5,661	2,512
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	30	31
固定資産賃貸料	118	178
為替差益	29	63
その他	36	41
営業外収益合計	217	317
営業外費用		
支払利息	146	70
固定資産賃貸費用	77	113
その他	187	69
営業外費用合計	411	253
経常利益	5,466	2,576
特別利益		
固定資産売却益	12	5
投資有価証券清算益	—	31
その他	1	6
特別利益合計	14	43
特別損失		
固定資産処分損	158	42
減損損失	286	124
その他	10	7
特別損失合計	455	174
税金等調整前四半期純利益	5,025	2,444
法人税、住民税及び事業税	1,899	674
法人税等調整額	△241	221
法人税等合計	1,657	895
少数株主損益調整前四半期純利益	3,367	1,549
少数株主利益	9	24
四半期純利益	3,358	1,524

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,367	1,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	113
繰延ヘッジ損益	△7	△5
為替換算調整勘定	11	75
その他の包括利益合計	0	183
四半期包括利益	3,368	1,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,357	1,701
少数株主に係る四半期包括利益	10	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,902	11,533	5,113	28,549	3,665	32,214	—	32,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	6	—	10	3	14	△14	—
計	11,906	11,540	5,113	28,559	3,669	32,229	△14	32,214
セグメント利益	313	4,941	341	5,596	64	5,661	0	5,661

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,290	7,539	6,624	26,454	3,386	29,840	—	29,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	9	—	11	0	11	△11	—
計	12,292	7,548	6,624	26,465	3,387	29,852	△11	29,840
セグメント利益	333	1,871	258	2,463	48	2,512	△0	2,512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。